

Feature Articles

オリジナルで競う動画配信サービス

- | | |
|------------|----------|
| 8 ABEMA | 10 GYAO! |
| 12 Netflix | 14 DAZN |

Close-Up Cable TV

- | |
|----------------------------------|
| 16 中海テレビ放送 第57回ギャラクシー賞報道活動部門大賞受賞 |
| 18 ジュピターテレコム(J:COM) 2020年度7月定例会見 |

ケーブルテレビ2020

サービス創出をバックアップするソリューション

- | | |
|----------|-----------|
| 20 さくら映機 | 21 グラスバレー |
|----------|-----------|

Special Talk

- | |
|-------------------------|
| 6 ちゅピCOM × ディスカバリー・ジャパン |
|-------------------------|

Special Topic

- | |
|-------------------------|
| 15 放送サービス高度化推進協会(A-PAB) |
|-------------------------|

Convention Report & Special Report

- | |
|---|
| 38 「新型コロナウイルス異変下で注目を集めるオンライン会議・展示会」文/神谷直亮 |
| 40 「宇宙新時代と新型コロナウイルス」取材・文/神谷直亮 |

有料放送&VODビジネスがわかる! 新社会人にもオススメの一冊



メディア融合時代到来!

[コンテンツ至上主義] 視聴者が「選ぶ」メディアは?
多チャンネル放送研究所 + 音 好宏(上智大学教授&多チャンネル放送研究所所長)編著

急速に台頭してきた有料動画配信サービス(OTT)の利用実態や、その潜在的ニーズ等を明らかにするとともに、多チャンネル放送に与える影響、多チャンネル放送とOTTとの関係等を分析。メディア融合時代の多チャンネル放送の今と未来を読み解きます。

定価:2,200円(税別)

- 編著:多チャンネル放送研究所 + 音 好宏所長
- 編集・発行:サテマガBi
- 発行日:2016年12月25日
- ページ数:182ページ
- サイズ:A5判



※購入は大手書店、Amazon、サテマガBi HPにて

Series Articles and Columns

- | |
|---|
| 22 ケーブルインターネットToday and Tomorrow ③ 文・山添亮介 |
| 24 放送ビジネスの政治経済学 ⑩ 文/音 好宏 |
| 26 メディア・リサーチ ~メディア企業の経営ビジョン~ withコロナとメディア(上) 文/鈴木祐司 |
| 28 メディアまんだらげ ⑪ 「2019年度ケーブルテレビの決算公告を見る」取材・文/猪股英紀 |
| 32 地産飛翔~ケーブルビジネス関連動向
(気になるトピック/機器チェック!/松平健のケーブルテレビ漫遊) |
| 42 アジア衛星TV最新情報 ⑫ 文/長瀬博之 |
| 44 日本で受信可能なアジア衛星TV一覧 |
| 49 地域メディア最前線 ⑬ 取材・文/兼古勝史 |
| 50 Official Information
日本ケーブルテレビ連盟/日本CATV技術協会/日本ケーブルラボ/ケーブルテレビ情報センター(CRI) |
| 53 Information 新作映画紹介 & オンラインセミナー |
| 54 考えるメディア ⑭ 文/福田 淳 |
| 55 ワハハ本舗 嘘始のエンターテイメントのツボとボツ ⑮ 文/喰 始 |
| 56 NEWS FILE 2020年6月29日~7月30日 |

DATA

- | |
|-----------------------|
| 36 CS-CHANNEL RANKING |
| 63 定期購読のおすすめ |
| 64 購読オーダーシート |
| 65 Back Number |



〈読者の皆さまへ〉

「DATAページ」(各プラットフォーム別加入状況および業界動向データ、CS/BSペイテレビ接触率ランキングなど)の掲載を今号も見送ることとなりました。上記各種データは、誌面には掲載しておりませんが、8月10日に弊社HP(<http://www.satemaga.co.jp/>)にPDFにてアップしております。お手数ですが、こちらから閲覧くださいますようお願い申し上げます。

2020年8月10日

サテマガ・ピー・アイ(株) 月刊「B-maga」発行人 一瀬悦子/編集長 池和田一里



CLOSE SHOT

バスキュール×スカパーJSAT×JAXA
世界初! 宇宙からの双方向ライブ番組「KIBO宇宙放送局」
8月12日YouTubeとBSスカパー!で発信

8月12日に生配信・生放送する
「KIBO宇宙放送局」のマイクルー務める
中村倫也と菅田将暉 写真提供:バスキュール



する。
番組配信日となる8月12日は、三大流星群のひとつ「ペルセウス座流星群」が地球に訪れる夜。KIBO宇宙放送局では、「きぼう」内にある地球を望む円窓の隣に設置されたディスプレイ上に、さまざまな映像や視聴者の声をリアルタイムにアップリンクし、表示することが可能。その様子を宇宙飛行士が撮影し、ダウンリンクすることで、宇宙と地球をつなぐ双方向配信が実現する。

(株)バスキュール(東京・港区、朴正義社長)とスカパーJSAT(株)(東京・港区、米倉英一社長)は、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(東京・調布市、山川宏理事長、以下JAXA)の共創型研究開発プログラムである宇宙イノベーションパートナーシップ「J-SPARC」として推進中の宇宙メディア事業「KIBO宇宙放送局」の実証として、8月12日19時45分~21時45分(予定)に公開実験番組「KIBO宇宙放送局 開局特番~WE ARE KIBO CREW~」を、YouTubeとBSスカパー! BS241/プレミアムサービス579で生配信・生放送する。本番組を率いるのは、企画づくりから参加しているマイクルーの中村倫也と菅田将暉。今回の実証実験の大好きな目標「誰もがメッセージを発信できる舞台として、宇宙を開放する」先導役として活躍する。中村倫也クルー、菅田将暉クルーを中心に、地上400km、秒速8kmの速さで移動している国際宇宙ステーション(ISS)/日本実験棟「きぼう」に開設されたKIBO宇宙放送局から、宇宙と地球をつなぐ世界初の双方向ライブ配信実験にチャレンジ